

～多様な学びの場があります～

それぞれの学びの場には、学習の内容や支援の方法に様々な特色があります。お子さんが、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら過ごすことで、力を引き出し、生きる力を身に付けていける学びの場であることが大切です。

長久手市の小学校

通常の学級

【1 学級 35 人に対して担任 1 人】

・障害に配慮し、指導内容・方法を工夫した学習活動を行います。

通級指導教室 (通常学級在籍児童対象)

・各教科などの授業は通常の学級で行い、障害の状態に応じた「特別の指導」を週に数時間、通級指導教室で行います。

・基本的には、個別指導ですが、内容によっては、数人のグループで行うこともあります。

<通級指導教室の対象>

- 言語障害 ○自閉症 ○情緒障害
- ★弱視 ★難聴 ○学習障害(LD)
- 注意欠陥多動性障害(ADHD)
- 肢体不自由 ○病弱及び身体虚弱

★は、特別支援学校より巡回指導があります。

交流

特別支援学級

【1 学級 8 人に対して担任 1 人】

・障害の種別ごとの学級で、特別支援学級での支援・授業を主とします。

・1～6年生のが同じ学級に在籍します。

・一人一人の特性に合わせた教育を実施します。⇒知的障害のあるお子さんには、該当学年の教育課程ではなく、下学年の教育課程を実施するなど、個別に教育課程を編成することが可能です。

・各教科の他に、「自立活動」という学習があります。

<交流学級>

・学校行事や学級活動など、通常学級で活動することもあります。

・教科や学習内容によって、通常学級で学習することもあります。

・一年間、同じ通常学級を交流学級として、一緒に活動します。

・交流学級の授業時数は、支援学級での授業時数を下回るように設定されます。

特別支援学校

<長久手市から通える特別支援学校：小・中部>

- ・瀬戸つばき特別支援学校(知的)
- ・小牧特別支援学校(肢体不自由)
- ・瀬戸特別支援学校(肢体不自由)
- ・大府特別支援学校(病気療養)
- ・名古屋盲学校
- ・千種聾学校(幼・小)、名古屋聾学校(中～)

【1 学級6人、重複障害は3人に対して担任 1 人】

・愛知県立特別支援学校と瀬戸市立特別支援学校があります。

・一人一人の特性に合わせた教育を実施しています。

・専門性を生かして支援を実施しています。